1 イボテングダケ

2 マツオウジ

3 スナジホウライタケ

令和7年度企画展Ⅰ

マツと生きるキノコたち

2025 6.14(土)-8.31(日)

／ マツと生きている様々なキノコを紹介します！ ＼

4 チシオハツ

5 ヒメコガネツルタケ

6 ツルタケ

【画像提供】1：NPO法人静岡県自然史博物館ネットワーク / 2～6：（一財）三保松原保全研究所

みほしるべ
MIHO SHIRUBE 静岡市三保松原文化創造センター
Shizuoka City Miho no Matsubara Culture & Creativity Center

共催：（一財）三保松原保全研究所

開館：9:00～16:30
年中無休・入館無料

〒424-0901
静岡市清水区三保1338-45
☎054-340-2100
https://miho-no-matsubara.jp/

※最新の開館状況は
HPでご確認ください。

令和7年度企画展Ⅰ

マツと生きるキノコたち

マツとキノコの不思議な関係？！

マツが水分や栄養の少ない土地でも育つことができる理由のひとつには、土の中の水分や栄養をキノコから与えてもらう代わりに光合成で作った栄養をキノコに与える、キノコとの共生関係を築いていることが挙げられます。

そんなマツと生きる「キノコ」には栄養を与え合って共生する「菌根菌（きんこんきん）」だけでなく、枯れたマツ材や落ち葉を分解する「腐生菌（ふせいきん）」もあります。

今回の企画展では三保松原のクロマツ林、そして
アカマツ林やカラマツ林で見られる様々な
キノコについて、写真や標本を
展示して紹介します。

1　ヒイロタケ

2 ツチグリ

3 マツカサタケ

1、2 （一財）三保松原保全研究所
3　NPO 法人静岡県自然史博物館ネットワーク

会期中イベント

企画展関連イベント 三保松原キノコ観察会

日時：7/6（日）10:00～12:00
講師：池ヶ谷のり子氏（静岡木の子の会）
会場：羽衣の松周辺
定員：25名（申込多数抽選）
対象：どなたでも
　　※小学３年生以下は保護者同伴
申込：電話で静岡市コールセンター
　　（☎054-200-4894）又はHP申込
　　6/3（火）～6/19（木）まで

※注意事項※
・荒天の場合、みほしるべ2階会議室で講師による講義＆展示解説になります。
・キノコの発生は気象状況等により異なります。

▲申込フォーム

企画展関連ワークショップ きのこのガーランド作り

日時：7/13（日）、7/20（日）
　　各日10:00～15:00
会場：みほしるべ２階会議室
定員：各日30名（先着順）
対象：どなたでも
申込：不要、当日直接会場へ
　　※定員に達し次第受付を終了します。

イメージ図

みほしるべ展示クイズラリー

みほしるべの展示を見てクイズに挑戦しよう！参加者にはオリジナル缶バッジをプレゼントします。

日時：企画展開催期間中の日曜祝日
　　（振替休日含む）
　　各日9:00～15:00随時受付
会場：みほしるべ1階受付
定員：各日30名（先着順）
申込：不要、当日直接会場へ
　　※定員に達し次第受付を終了します。

※各イベントの最新情報は公式サイトを確認下さい。

みほしるべ
MIHO SHIRUBE 静岡市三保松原文化創造センター
Shizuoka City Miho no Matsubara Culture & Creativity Center

開館 9:00～16:30
年中無休・入館無料
ミュージアムショップあり

【JR】
清水駅から三保方面行きバス約25分
「三保松原入口」下車徒歩約15分

【静岡鉄道】
新清水駅から三保方面行きバス約20分
「三保松原入口」下車徒歩約15分

【車】
清水ICから約25分
静岡ICから約35分
日本平久能山スマートICから約25分
（駐車場173台）

※土日祝日のみ「世界遺産三保松原」行きのバスが運行します。
バス停からみほしるべまでは徒歩数分です。

音声ガイドを使ってもっと三保松原を楽しもう！
Otono

松原の保全活動に参加してみませんか？
詳細はこちら→